

## 平成24年度事業報告

### I 概要

平成24年度は、欧州の債務危機等による超円高が及ぼす厳しい経済・雇用情勢が続く中、シルバー事業は関係者の努力にもかかわらず、契約高（売上額）は対前年度比3.6%減少という結果となった。

また、補助金が国、地方を通じて過去2年間にわたり大幅な削減や派遣契約期間の3年問題などが影響して、県内の各シルバー人材センター（以下「センター」という。）の運営状況は、前年度同様に厳しい状況下に置かれた。

一方で、少子高齢化が急速に進展し、更に平成24年度からは雇用延長がされている団塊の世代が退職期を迎え、労働力人口の大幅な減少が進む一方、高齢者が労働力の一翼を担うことも求められており、その準備体制を継続的に整えるべき年でもあった。

このような状況下、引続き高齢者の就業の場を確保するとともに課題となっているシルバー事業の充実強化を図り、地域の要請に応じていくため県下のセンターと連携して次の事項を重点に各種事業を実施した。

- 1 センターへの支援
- 2 安全・適正就業の強化と事故防止
- 3 公益社団法人への移行認定申請
- 4 一般労働者派遣事業（以下「シルバー派遣事業」という。）の推進
- 5 シニアワークプログラム事業等、受託事業の推進
- 6 センター未設置地域の解消

#### （事業実績）

項目	平成24年度実績	平成23年度実績	増減 (対前年度比)
会員数 <sup>(人)</sup>	10,006	10,116	△110 (△1.09%)
契約件数 <sup>(件)</sup>	72,269	72,048	221 (0.3%)
契約金額 <sup>(百万円)</sup>	3,652	3,788	△136 (△3.6%)
就業率 <sup>(%)</sup>	86.5	85.9	0.6

## II 具体的な事業実施結果

### 1 センターへの支援

#### (1) 指導・助言・情報の提供等

シルバー事業の発展拡充を図るため、センターが地域のニーズや制度改正等に的確に対応できる事業展開を円滑に実施できるよう、次の事業等を実施した。

ア 通常業務に関する事項（予算、経理、補助金、事務執行等）

イ 個別指導（6センター）

ウ 公益社団法人移行認定後の的確な事業推進事項

エ 安全・適正就業に関する事項

オ 企画提案方式による事業に関する事項

カ 新規の課題・懸案事項に関する事項

キ 役職員等の研修等

- ・役員・幹部職員研修（1回）

- ・総務経理担当者研修及び公益社団法人移行後の課題事項の研修（4回）

- ・業務担当者研修（1回）

- ・安全・適正就業推進大会（1回）

- ・安全対策会議（1回）

ク 行政機関(公社)全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）等との連絡調整

#### (2) 雇用関係のない仕事の提供事業

就業開拓員による就業開拓、シルバーしごとネット等を通じて発注のあった請負契約等に適する仕事を情報として県下センターに提供した。

### 2 雇用関係のある仕事の提供事業

#### (1) シルバー派遣事業

センターの協力を得て、次の事項に取り組んだ結果、派遣3年問題に直面したにも拘わらず、当初計画を上回る実績を上げることができた。

ア 企業のニーズ調査（659事業所）

イ 就業開拓員による受注活動（414事業所）

ウ 派遣可能会員の拡充及び資質の向上

エ 啓発用リーフレットの作成

<事業実績>

- ・契約 金額 387,624 千円（公共 190,501 千円、民間 197,123 千円）

- ・派遣 会員 775 人

- ・派遣延べ人員 71,626 人日

#### (2) 無料職業紹介事業

ア 無料職業紹介

シニアワークプログラム地域事業の推進を通じて次の求人等があった。

求人企業 49事業所（求人件数 140人 求人延べ数 6,598人日）

求職者 832人（有効求職者数 118人 新規求職数 714件）

就 職 者 1,499人 (就職件数 32件 就職延べ数 1,467人日)  
 イ 無料職業紹介事業「紹介責任者」講習会への参加 6人 (5センター)

### 3 講習等の受託事業

#### (1) シニアワークプログラム地域事業

就職を希望する55歳以上の高齢者雇用就業機会の確保を促進することを目的に、センター・事業主団体・ハローワーク等関係機関の協力を得て、次の講習会等を実施した。

#### ア 講習会

開催回数	31回 (重点	20回	通常	11回)
受講者数	679人 (重点	471人	通常	208人)
修了者数	587人 (重点	396人	通常	191人)
講習の種類	<重 点>			
	介 護 (ヘルパー2級)			4回
	作業機器 (刈払機・チェンソー等)			5回
	フォークリフト			2回
	警備業務			2回
	経理事務&IT			2回
	造園&ガーデニング			2回
	花き・野菜栽培&ガーデニング			2回
	マンション管理業務補助者			1回
	<通 常>			
	造 園			8回
	家事援助			1回
	子育て支援			1回
	労務管理事務補助			1回

#### イ 職場 体験

本事業では、体験受講者目標数を150人として実施しました。

体験受講者は、239人で当初目標を上回ることができ、体験を通して雇用・就業した高年齢者は169人 (内訳は、下記のとおり。) に達しました。

#### <実施内訳>

技能講習一体型 (講習前・中・後)	7	コース	111	人
・ITコース	2回		42人	
		・就農支援コース	5回	69人
トライアル型	5	コース	74	人
・就農支援コース	5回		74人	
単独型 (企業ニーズトライ)	31	コース	54	人
・機械製造コース	4回		7人	
・食品製造コース	3回		5人	
・送迎運転コース	8回		9人	
・ガソリンS業務	5回		12人	
・講習会講師業務	4回		6人	
・保育業務補助	2回		3人	

・スーパー販売 1回 8人 ・その他 4回 4人

ウ 合同面接会

開催回数 21回  
求人確保企業数 146社  
参加者 452人（うち、就職者 70人）

（備考）合同面接会は、ハローワークの協力で開催した。

4 1～3の事業を推進するための諸活動事業

(1) 公益社団法人への移行

公益社団法人として更に高齢者及び地域の期待に応えるため、連合会・18センターが石川県知事に同法人への移行認定申請をし、平成25年3月までにそれぞれ認定され、同年4月から公益社団法人移行した。

(2) 安全・適正就業の強化と事故防止

シルバー事業の実施に当たっては、会員の安全就業が第一であり労働関係法令を遵守し重篤事故を発生させないことを目標に、センターと連携協力して次の事業を実施した。

この結果、事故は県全体で前年度より6件減少の37件発生したが、幸い重篤な事故は発生していない。

ア 安全・適正就業強化月間（7月）

（ア）安全・適正就業の懸垂幕及びのぼり旗を掲示（連合会、センター）

（イ）安全・適正就業推進大会を開催し、安全適正就業の必要性、取組み姿勢等を再確認（7月27日、出席者108人）

（ウ）安全・適正就業に関する標語の入選者の表彰（優秀作2人、佳作5人）

（エ）安全・適正就業委員によるパトロールの実施（7月1～31日、76ヶ所参加者176人）

（オ）安全・適正就業に関する標語（応募94句）

イ 適正就業に係る自主点検の実施（50, 243件）

ウ 安全・適正就業に関する冊子、用品等の配付

(3) 普及啓発活動

シルバー事業の理念・仕組み・事業内容等について、県民・企業等に広く周知するため、次の事業を実施した。

ア 普及啓発促進月間（10月）

（ア）シルバーの日（第3土曜日）に連合会及びセンターの役職員・会員1,670人が街頭（48か所）で啓発用品を配付（啓発用チラシ10,500枚、ポケットティッシュ21,900個）

- (イ) 懸垂幕及びのぼり旗を掲示（連合会、センター）
- (ウ) 啓発用チラシの作成（10,500枚）
- (エ) ボランティア活動の実施（センター：清掃、除草等）
- (オ) マスコミへの情報提供（1回）

イ 年間を通じた活動

- (ア) 普及啓発用パンフレットの作成、配付（講習会用等2,300部）
- (イ) 折込みチラシの作成、配付（講習会用等432,000部）
- (ウ) 会報「いしかわ」の発行（2回）
- (エ) ホームページによる広報
- (オ) 行政機関、団体等の広報誌による啓発
- (カ) 全シ協頒布用品等の購入・配付（月間シルバー、啓発用ビデオ等）
- (キ) マスコミへの情報提供

(4) 相談・情報提供

高齢者の就業その他の社会参加を支援するため、就業等の活動を求める高齢者や豊富な知識・経験を有する高齢者を必要としている企業・団体等からの相談に応ずるとともに、必要な情報を提供した。（相談件数 2,062件）

(5) 就業開拓の促進

高齢者の就業分野の拡大を図るため、センターと連携して次の事業を実施した。

- ア 企業等のニーズの把握（再掲659事業所）
- イ 就業開拓員による受注活動の推進（再掲414事業所）
- ウ 先進事例、企業の情報を収集し、センターに提供
- エ センターの就業開拓のフォロー
- オ シルバーしごとネットの活用

(6) 調査研究事業

- ア 企業のニーズ調査（再掲659事業所）
- イ 講習会受講者に対するアンケート調査（再掲587人）
- ウ 事業実施報告書の作成・分析（毎月）
- エ 事業概要の作成（1回）
- オ 年度統計の集計・分析（1回）
- カ 事故発生状況の調査・分析（毎月）

(7) センター未設置町の解消

未だセンターが設置されていない1町については、要請を行ったが残念ながら実現せず、引き続き要請活動を続けていくこととしている。

### Ⅲ 通常総会、理事会等の開催

会 議 名		開 催 年 月 日	開 催 場 所 等
定 時 総 会		平成24年 5月30日 平成25年 5月30日	石川県女性センター ホテル 金沢
理 事 会		平成24年 5月16日 平成24年 5月30日 平成24年 6月29日 平成24年11月29日 平成25年 3月25日	金沢都ホテル 石川県女性センター 持ち回り 金沢勤労者プラザ 石川県女性センター
平成23年度 会計及び業務の監査 平成24年度 会計及び業務の監査		平成24年 5月 9日 平成25年 5月 8日	連合会
センター事務局長会議		平成24年 6月18日	石川県女性センター
		平成24年12月 5日	同 上
		平成25年 2月20日	同 上
専門委員会	就業開拓委員会 安全就業委員会 交流研修委員会 普及啓発委員会	平成25年 2月25日	同 上
第1回シニアワークプログラム検討推進委員会（石川労働局主催）		平成24年 7月10日	石川労働局
第1回石川高齢者雇用推進委員会及び第2回シニアワークプログラム検討推進委員会（石川労働局主催）		平成24年10月 1日	同 上
シルバー人材センター事業推進連絡会議及び第3回シニアワークプログラム検討推進委員会（石川労働局主催）		平成25年 1月28日	同 上
第2回石川高年齢者雇用推進委員会及び第4回シニアワークプログラム検討推進委員会（石川労働局主催）		平成25年 3月18日	同 上